

福田將夫に『そりかへつて』見せて貰ふこと

「ララギ」一月號に、齊

ける文中に、先年岩波書店から童謡集**柴木**を採り、また今年に第二童謡集と歌集を刊行する積りであると將に「賣名的言弄」などと書いてゐる。ところがこれに彼の妄者が「歌集の二三を口をいふ人は、多くは讀まぬ人であり、さもなくば上

小川郷 吉岡郷

やつたのである。ところで
福田君、悔しかつたら君も
岩波あたりから詩歌集でも
出版して見ておへ。

水

總選舉漸く近づく
山川や日に日に太る春の
候補者大体出揃ふ
日電、電報、函、海の手紙

たが、岩波なぞでは仲々詩歌集ばかりでなく、圖書出版へ引受けない。顧問としてやうな人が居て、一々検閲し、岩波の主人がまた調査した上でなくては出版せられぬ。大澤敬受が弟子の原高

予の黄龍集もさうであつたが、岩波なぞでは仲々詩歌集ばかりでなく、圖書出版へ引受けない。顧問としてやうな人が居て、一々検閲し、岩波の主人がまた調査した上でなくては出版せられぬ。大澤敬受が弟子の原高

第三編やゝ寂寥陣立てのたゞたどるよ歌留多會比佐派野崎派の確執櫻一と本木ふ分家と路が

日藤の屋、瀧井の松の

最も眞しな熱を持つたもの
 を持ちこんで来たからとて
 引受けはしない
 なら無名の著作でも引受け
 るのであつた。故に瀧も安
 心して購求することができ
 た。これは世間も信じ、岩
 瀬衆郵便へ廻つて來た萬歳を特託
 隣りまで來た萬歳を特託
 政見發表は同時に
 こゝやち
 渾々腹抱へて暫し轉寝す
 選舉人は籍満満

波茂雄氏もまづ、持論である。予の童謡集如きにも東大の寺田寅彦博士や京大の天野貞祐先生が検閲を下さつたのである。これに賣名でも何でもない。柴木集の卷末記、よめば明記は賢名の文章にしる。ロダン語録にせよ、子規の文章にせよ、皆有益なものゝみじむ云々」

熱の無い源平戦の歌留多か那

してある一事實である。それは又予如き若年者にとて理の當然である。先人の校閲なくして世に刊せざるものぢやない。

著作物は對して良心の時でないならば出さず仕方がないやうな旨では仕方ありませんで出版

福田君よ、もし君が悔し
つた。辭歌集を岩波から
給へと手紙

賣名となふか。云つた柄
で相手が齋藤盛吉博士ちや
齒が立つまい。

[]

これも悔しかつたら投書
でもして見給へと予は前言
した。おそろく選歌にすら
入るまゝ。妄者福田の駄作
をもつてしては、こゝで
もしやちこちでもして
見給へ。

(つゞく)


唯今、ね席を改めます故
しばらくこれにて……」
「いやう」淇園は輕くそ
の禮をうら消しました。
「左様、改まらには及ばぬ
幸ひ身共も空腹ちや程に一
杯、頂かちや哺」
「是、予ではこゝ男の雅
さされたは御用を仰せら
ますのは、如何様のこと
うむ、それか」
「さう、さうか」
「さうぞいふのは、實は浪
花。」

参 明日 参 舊月 新月 二
 吉 凶 曆八 曆六
 参 日 日

▲一白 終身路を譲るも百
 歩を枉げず先を越すは凶▲

一黒 鯉を逃し雑魚を得る

禮をな見逃し下されますか
 「うむ」
 化の牛井竹山ちや、あの御
 人は、來春罷流社の一同を
 「有り難き仕合せにござり
 ひきつて上洛されるとい



も捕さるしは増し▲三碧
危険に近づく居りて自覺せ
ざることある日▲四綠 胸
の中を廻ら火の車忙しくと
も秩序を亂すか▲五黃 剛
腹を戒め獨斷に流れざれば
運象向上下▲六白 何とな

く束縛さるゝ様な氣が、ちの
去らぬ日、▲七亦、次第牽運
に拘ゞべし氣を和ぐれば更
に吉し、▲八白、大波も乗り
切つて享樂の天園に入とべ
き日、▲九紫、瘦我慢をして
も結局は骨折損に終るべき
ます、一源水は禮を正して淇
ふのぢやが、それについて

講 談

「これよ。先生に膳部でも
て」と次の部屋のものに命
じました
やうに四人圓座の酒席が
改まつてかゝ源水はき圖に
登九郎一紹介しました
「これは上野國新田郡の産
座をみまはしました。
は又とない好機會、井澤
（蘭齋）氏やその他とも語
らつて一夕の歡をつくした
と思ふのぢやが、それに
ついて相談といふのは他で
もない」云ひ乍らちろりど
座をみまはしました。

「なに、皆川先生が」
源平もはつと容し正して
問ひかへしました
「はい、至急、談合致しな
げにござりまするが……」
「ふむ」源平ははたき當
座しました。
「ふむ、高山氏といはらへ

にて高山遠江殿御子孫同姓
彦九郎と申さる御人、年
少ながらも氣遣のものを
ござります。御引立て願はれ
ますれば有り難き仕合せに御
座ります」

平町組様町

廣 告

藤沼醫院

電話五〇七番

皆川洪國といへば彼自身か
 大恩ある師です。その一頭
 太儒を以て聞けた人ですか
 ら。如何になんでも酒宴の
 席に招きつゝおふことは失
 禮です。さればどうしてこ
 の部屋より他に教師を導く
 一は、之は申に遅れました

滋養劑の霸王
 ケイ
 ヴイタミンに限然
 平五 山野逸樂局



夜

<h1 style="font-size: 2em;">梅毒</h1> <p>淋病 婦人病 皮膚病</p> <h2 style="font-size: 1.5em;">專門</h2>	<h1 style="font-size: 2em;">胃腸</h1> <p>內科 十二指腸 肝病</p> <h2 style="font-size: 1.5em;">專門</h2>
外科	內科

醫院

(電話一七〇七番)

松村

胃腸性病科

間

平町田町

高久病院

電話五三番

醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科

◎ネンシヨウストーブ
連頓完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉

◎スタデリナ石油コンロ
◎及、林内式石油ストーブ

燃料經濟新案ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在、ニシテ體裁優美ナリ緊縮如代ニ最モ理想の國産品デアリマス弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ極メテ薄利多賣主義ヲ以テ皆格ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願上开

日本石油株式會社・特約店
ライシנג・サン・石油會社重油特約店
取方電氣株式會社比古町等約店

關昌彰商店
吉田油槽所
常盤線中町一丁目(電話六一番)(九〇二番)
關彰商店平支店

外科 醫學博士 藤本順
產科 人婦科 茂長 木村寅次郎
平町新川町
木村病院
電話一六四番
入院隨意（自炊の便あり）
X光線科

平南町
上田外科醫院
電話 一二九

外科專門

內科 診療

消化器病科 呼吸器病科
小兒 內科 一般 內科

入院應需(自炊ノ便アリ)

平町 坂

渡邊 內科醫院

電話 一六一番

粉白美斗末

最高の白粉

どなたの肌をも自然的に美化し、
化粧品と贅麗に満ちた化粧映のする
ホシ美白粉こそ又絶対無銘にて、
衛生上よりも、最高の白粉と贅美
なるものであります。



